

聖歌 638 (E. E. ヒューイット 1898 年)

御国に住まいを備えたまえる

主イエスの恵みをほめよ たたえよ

※ やがて 天にて喜び楽しまん

君にまみえて 勝ち歌を歌わん

浮世のさすらいやがて終えなば

輝く常世の御国に移らん

※

もろともいそしみ励み戦え

栄えの主イエスにまみゆる日まで

※

目あてに向かいて馳場を走り

輝く冠を御殿(みとの)にて受けん

※

聖歌 634 (J. M. ブラック作 1893 年)

世の終わりのラッパ鳴り渡る時

世は常世の朝となり

救われし者は世もの隅より

すべて主のもとに呼ばれん

※ その時わが名も その時わが名も

その時わが名も呼ばれなば必ずあらん

そのとき眠れる聖徒よみがえり

栄えの身体に変わり

われらも共に携え上げられ

空にて主に会いまつらん

※

世のわざを終えて天つ憩いに

招かるる日近ければ

なおも主の愛を世人に語り

御栄えのために尽くさん

※